

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	八千代リハビリテーション学院
設置者名	学校法人巨樹の会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	理学療法学科	夜・通信	9単位	9単位	
	作業療法学科	夜・通信	9単位	9単位	
	理学療法学科	(夜)・通信	7単位	7単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ https://www.yachiyo-reha.jp/ シラバスとともに公表

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 (困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	八千代リハビリテーション学院
設置者名	学校法人巨樹の会

1. 理事（役員）名簿の公表方法

法人ホームページ <https://kyoju.ac.jp/financial/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	病院院長	令和4年4月1日～ 令和8年3月31日	法人運営全般
非常勤	会社役員	令和4年4月1日～ 令和8年3月31日	事業運営及び組織体制の調整
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	八千代リハビリテーション学院
設置者名	学校法人巨樹の会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

(授業計画の作成・公表に係る取組の概要)

学則に定める、教育課程、授業時数に基づき、授業計画を作成する。学内での検討・審議を経て、前年度後半に授業計画を作成し、科目担当講師の確認、使用テキストの選定、シラバス配布の準備等を進める。新年度開始時には、該当年度のシラバスを学生に配布して説明を行い、ホームページにて公開する。

授業計画の公表方法 在籍学生、教職員へ配布、およびホームページ(<https://www.yachiyo-reha.jp/>)にて公表

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

授業科目の成績評価は、各科目における出席時数が3分の2に達した者、臨床実習においては5分の4に達した者を対象に、定期試験、提出レポートや課題等、シラバスに示す方法にて行う。成績は、100点を満点に、A(80点以上)、B(79~70点)、C(69~60点)、D(60点未満)とし、C以上を合格とする。単位認定にあたっては、受講学生の出席および学修状況、各科目の成績評価を単位認定会議にて確認、審議して決定する。併せて、履修・単位取得状況による進級および卒業判定を行う。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

各科目の成績評価は、100点を満点に、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（60点未満）とし、C以上を合格としている。成績は、学事システムソフトにて、全科目100点満点に換算した数値をもって一元管理を行っている。学生個人の学修成績および全体の成績分布については、各科目の成績、平均点、得点分布、ならびに履修科目全体の平均点やその分布により把握して、成績順位や単位取得状況として学生へのフィードバックに活用し、求められる成績証明書の作成も行っている。成績評価の設定および指標については、授業計画と合わせて、ホームページにて公表する。

客観的な指標の算出方法の公表方法	在籍学生、教職員へ配布、およびホームページ（ https://www.yachiyo-reha.jp/ ）にて公表
------------------	--

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

卒業認定にかかるディプロマポリシーは、情意面では臨床に求められる資質と協調性、知識面では国家試験受験に求められる原理知識の理解と統合、技術面では基本的なりハビリテーションプログラムの遂行ができるなどをあげている。そのためのカリキュラムに定める、臨床実習を含めた必修全科目の単位取得した者の卒業を学則に則り認定する。また科目的成績評価、単位認定、卒業認定に至るまで、一元化した成績管理、単位認定ならびに卒業判定会議の開催により、適切に行っている。

卒業認定の方針は、アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー、学則、カリキュラム、シラバス等をホームページにて公表している。

卒業の認定に関する方針の公表方法	在籍学生、教職員へ配布、およびホームページ（ https://www.yachiyo-reha.jp/ ）にて公表
------------------	--

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	八千代リハビリテーション学院
設置者名	学校法人巨樹の会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://kyo.ju.ac.jp/financial/
収支計算書又は損益計算書	https://kyo.ju.ac.jp/financial/
財産目録	https://kyo.ju.ac.jp/financial/
事業報告書	https://kyo.ju.ac.jp/financial/
監事による監査報告（書）	https://kyo.ju.ac.jp/financial/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療	医療専門課程	理学療法学科	○	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		開設している授業の種類
		講義	演習	実習 実験 実技
3年	昼	127 単位	76 単位 31 単位 20 単位 0 単位 0 単位	127 単位時間
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数 総教員数
280 人	302 人	1人	13 人	19 人 32 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）学則に定める、教育課程、授業時数に基づき、授業計画を作成する。学内の検討・審議を経て、前年度後半に授業計画を作成し、科目担当講師の確認、使用テキストの選定、シラバス配布の準備等を進める。新年度開始時には、該当年度のシラバスを学生に配布して説明を行い、ホームページにて公開する。

成績評価の基準・方法

（概要）授業科目の成績評価は、各科目における出席時数が3分の2に達した者、臨床実習においては5分の4に達した者を対象に、定期試験、提出レポートや課題等、シラバスに示す方法にて行う。成績は、100点を満点に、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（60点未満）とし、C以上を合格とする。単位認定にあたっては、受講学生の出席および学修状況、各科目の成績評価を単位認定会議にて確認、審議して決定する。併せて、履修・単位取得状況による進級および卒業判定を行う。

卒業・進級の認定基準

(概要) 卒業認定にかかるディプロマポリシーは、情意面では臨床に求められる資質と協調性、知識面では国家試験受験に求められる原理知識の理解と統合、技術面では基本的なりハビリテーションプログラムの遂行ができるることをあげている。そのためのカリキュラムに定める、臨床実習を含めた必修全科目の単位取得した者の卒業を学則に則り認定する。また科目の成績評価、単位認定、卒業認定に至るまで、一元化した成績管理、単位認定ならびに卒業判定会議の開催により、適切に行っている。
卒業認定の方針は、アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー、学則、カリキュラム、シラバス等をホームページにて公表している。

学修支援等

(概要) クラス担任制のもと、専門職へのモチベーションを維持する初年次教育や職業実践教育に配慮し、学習面および生活面にわたる面接および相談を随時行いサポートしている。欠席の多い学生は担任より状況確認して面談、必要に応じて保護者との第三者面談も実施している。成績が伸び悩むなど履修が危惧される学生には正課以外に学修支援の機会を設けている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
83人 (100%)	0人 (0%)	83人 (100%)	0人 (0%)

(主な就職、業界等)
総合病院 リハビリテーション病院 整形外科 介護保健施設

(就職指導内容)
就職説明会開催、求人票の掲示、学生が閲覧できるドライブへ情報入力、就活接遇指導

(主な学修成果（資格・検定等）)
国家試験（理学療法士）受験資格・専門士（医療専門課程）

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
273人	7人	2.6%

(中途退学の主な理由)
進路変更（体調不良、就職）

(中退防止・中退者支援のための取組)
担任面談、学生相談室等によるフォロー

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療	医療専門課程	作業療法学科	○	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類	
			講義	演習 実習 実験 実技
3年	昼	126 単位	79 単位 25 単位 22 単位 0 単位 0 単位	126 単位時間
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数 総教員数
160 人	131 人	0 人	9 人	11 人 20 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) 学則に定める、教育課程、授業時数に基づき、授業計画を作成する。学内での検討・審議を経て、前年度後半に授業計画を作成し、科目担当講師の確認、使用テキストの選定、シラバス配布の準備等を進める。新年度開始時には、該当年度のシラバスを学生に配布して説明を行い、ホームページにて公開する。
成績評価の基準・方法
概要) 授業科目の成績評価は、各科目における出席時数が3分の2に達した者、臨床実習においては5分の4に達した者を対象に、定期試験、提出レポートや課題等、シラバスに示す方法にて行う。成績は、100点を満点に、A(80点以上)、B(79~70点)、C(69~60点)、D(60点未満)とし、C以上を合格とする。単位認定にあたっては、受講学生の出席および学修状況、各科目の成績評価を単位認定会議にて確認、審議して決定する。併せて、履修・単位取得状況による進級および卒業判定を行う。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業認定にかかるディプロマポリシーは、情意面では臨床に求められる資質と協調性、知識面では国家試験受験に求められる原理知識の理解と統合、技術面では基本的なリハビリテーションプログラムの遂行ができるることをあげている。そのためのカリキュラムに定める、臨床実習を含めた必修全科目の単位取得した者の卒業を学則に則り認定する。また科目的成績評価、単位認定、卒業認定に至るまで、一元化した成績管理、単位認定ならびに卒業判定会議の開催により、適切に行っている。卒業認定の方針は、アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー、学則、カリキュラム、シラバス等をホームページにて公表している。
学修支援等
(概要) クラス担任制のもと、専門職へのモチベーションを維持する初年次教育や職業実践教育に配慮し、学習面および生活面にわたる面接および相談を隨時行いサポートしている。欠席の多い学生は担任より状況確認して面談、必要に応じて保護者との三者面談も実施している。成績が伸び悩むなど履修が危惧される学生には正課以外に学修支援の機会を設けている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
36人 (100%)	0人 (0%)	35人 (97.2%)	1人 (2.8%)
(主な就職、業界等) 総合病院 リハビリテーション病院 整形外科 介護保健施設			
(就職指導内容) 就職説明会開催、求人票の掲示、学生が閲覧できるドライブへ情報入力、就活接遇指導			
(主な学修成果（資格・検定等）) 国家試験（作業療法士）受験資格・専門士（医療専門課程）			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
123人	9人	7.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更（就職・進学）		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任面談、学生相談室等によるフォロー		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
医療		医療専門課程	理学療法学科		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	
4年	夜	127 単位		76 単位	31 単位	20 単位	
		0 単位 0 単位 127 単位時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 人		128 人	0 人	8 人	24 人	32 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

(概要) 学則に定める、教育課程、授業時数に基づき、授業計画を作成する。学内での検討・審議を経て、前年度後半に授業計画を作成し、科目担当講師の確認、使用テキストの選定、シラバス配布の準備等を進める。新年度開始時には、該当年度のシラバスを学生に配布して説明を行い、ホームページにて公開する。

成績評価の基準・方法

(概要) 授業科目の成績評価は、各科目における出席時数が3分の2に達した者、臨床実習においては5分の4に達した者を対象に、定期試験、提出レポートや課題等、シラバスに示す方法にて行う。成績は、100点を満点に、A(80点以上)、B(79~70点)、C(69~60点)、D(60点未満)とし、C以上を合格とする。単位認定にあたっては、受講学生の出席および学修状況、各科目の成績評価を単位認定会議にて確認、審議して決定する。併せて、履修・単位取得状況による進級および卒業判定を行う。

卒業・進級の認定基準

(概要) 卒業認定にかかるディプロマポリシーは、情意面では臨床に求められる資質と協調性、知識面では国家試験受験に求められる原理知識の理解と統合、技術面では基本的なりハビリテーションプログラムの遂行ができるなどをあげている。そのためのカリキュラムに定める、臨床実習を含めた必修全科目的単位取得した者の卒業を学則に則り認定する。また科目的成績評価、単位認定、卒業認定に至るまで、一元化した成績管理、単位認定ならびに卒業判定会議の開催により、適切に行っている。卒業認定の方針は、アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー、学則、カリキュラム、シラバス等をホームページにて公表している。

学修支援等

(概要) クラス担任制のもと、専門職へのモチベーションを維持する初年次教育や職業実践教育に配慮し、学習面および生活面にわたる面接および相談を隨時行いサポートしている。欠席の多い学生は担任より状況確認して面談、必要に応じて保護者との三者面談も実施している。成績が伸び悩むなど履修が危惧される学生には正課以外に学修支援の機会を設けている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
35人 (100%)	0人 (0%)	35人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 総合病院 リハビリテーション病院 整形外科 介護保健施設			
(就職指導内容) 就職説明会開催、求人票の掲示、学生が閲覧できるドライブへ情報入力、就活接遇指導			
(主な学修成果（資格・検定等）) 国家試験（理学療法士、作業療法士）受験資格・専門士（医療専門課程）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状					
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率			
152人	7人	4.6%			
(中途退学の主な理由) 進路変更（就職・体調不良）					
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任面談、学生相談室等によるフォロー					

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
理学療法学科(昼)	300,000 円	1,100,000 円	250,000 円	その他は施設整備費
作業療法学科(昼)	300,000 円	1,100,000 円	250,000 円	その他は施設整備費
理学療法学科(夜)	300,000 円	600,000 円	200,000 円	その他は施設整備費
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
ホームページ https://www.yachiyo-reha.jp/ にて公表		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
学校関係者評価を通じ、教育活動及び学校運営を点検し、継続的に改善することで、社会の変化に対応できる学校組織を目指すとともに、情報公開により学校の透明性向上を図る。また、自己評価・学校関係者評価を行うことで、全教職員が学校の状況及び目標・方向性を共有し、教育活動及び学校運営の改善を円滑に推進する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
新浦安内科・脳神経内科クリニック リハビリテーション室室長	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日	企業等委員
医療機関 作業療法士	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日	企業等委員
株式会社ワクワーカ 代表取締役社長	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日	卒業生委員
習志野市議会議員	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日	地域委員
千葉県立八千代東高等学校 教頭	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日	高校等委員
帝京科学大学 東京理学療法学科講師	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日	有識者委員

学校関係者評価結果の公表方法
ホームページ https://www.yachiyo-reha.jp/ にて公表
第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
ホームページ https://www.yachiyo-reha.jp/

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合は、当該欄に「一」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H112310000733
学校名	八千代リハビリテーション学院
設置者名	学校法人巨樹の会

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		70人	66人	74人
内訳	第Ⅰ区分	34人	32人	
	第Ⅱ区分	24人	18人	
	第Ⅲ区分	12人	16人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				74人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
		年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	2人			
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	2人			
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人			
「警告」の区分に連続して該当	3人			
計	7人			
(備考)				

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	0人	前半期	後半期

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限り。）	
		年間	前半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	0人		
G P A等が下位4分の1	6人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	6人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。